

## 関西

### ◆ 5 グループ合同発表会

去る6月30日に、京都・向日市民会館第1会議室において、ギタークラブ・ソレイユ、奈良ギターサークル・セシリア、高槻ギタークラブ、西京都ギターカルテット、ギターサークル・ラグリマの5グループ合同の発表会が開催された。

ソレイユ（板倉富美男、稲垣恵子、岩崎哲也、大西和子、栗田富三、栗原みどり、堺陽子、酒匂景一、志岐隆治、関晶子、建口静雄、林田憲治、前田正夫）は向日市に活動拠点を置くクラシックギター愛好家のサークルで、同市在住のギタリストで作曲や教育にも世界的な活動続ける藤井敬吾先生の指導を受け、発足以来18年にわたり、地域に根差した演奏活動を行なっている。恒例となった年1回の合同発表会も今回で13回を数えることとなった。この日の発表会では約80名の聴衆を集め、梅雨の合間の曇り空の元、熱気に溢れた演奏が行なわれた。プログラムは独奏、二重奏、三重奏、四重奏、合奏と続き、ソレイユの合奏は〈エル・チョクロ〉（ビョルド）、〈ある恋の物語〉（アルマラン）のラテン系2曲で元気よく開始され、異国情緒に溢れた〈ベルシャの市場にて〉（ケテルビー）（以上藤井敬吾編）で締め括られた。第2部の最後は、5団体計34名による〈川の流れのように〉（見岳章～藤井敬吾）。ギター合奏と聴衆による合唱により、演奏者・聴衆一体となった盛り上がりの元に締めくくられた。第3部は、藤井敬吾とそのギター教室の生徒の重奏、藤井敬吾・岩崎慎一・永田参男による重奏ゲスト演奏が披露され、その卓越した演奏に聴衆は最後まで魅了され聴き入っていた。

ソレイユは、近隣のグループとも切磋琢磨しながら交流を深めるとともに、メンバーそれぞれが仕事や家庭の事情を抱える中、限られた時間をやり繰りし、さらに精進を続け、今後とも地域の文化向上に貢献していきたいと考えている。

（岩崎哲也）



ギタークラブ・ソレイユ